

地域 かわら版

一中地区版

■発行日／平成 27 年 5 月

■発行・編集／日野市企画部地域協働課

〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2

■電話／042-581-4112

H27年
通算第17号

写真：地域懇談会で訪れた仲田の森蚕糸公園の様子です。

* 地域がつながるフリーぺーぺー *

今日、高齢化社会・人口減少社会、地域コミュニティの衰退、空家問題などが叫ばれる中、これらの問題に立ち向かっていけるまちの基盤づくりのためには、「人と人とのつながり・コミュニティ」を創っていくこと、市民一人ひとりがまちづくりに関わっていくことが必要です。

その取組の一つとして、昨年度より8中学校区で開催している「地域懇談会」を大きく転換致しました。以前は、自治会活動の情報交換の場として自治会長を対象に開催しておりましたが、地域で活動している団体の方々にもお声掛けし、住んでいる方とその地域で活動している方の顔合わせの場となっています。

一中地区では、仲田の森蚕糸公園・子どものこと・防災について多くのグループで話題にしていました。

そして、取組のもう一つがこの地域情報誌である「地域かわら版」です。これまでの地域かわら版は日野市全域を対象に発行していましたが、昨年度より8中学校区に分け、記事は市民の方々に書いていただくなど、市民により身近な情報をお届けしています。

人とつながるきっかけとして一中地区のよさを発見する「地域かわら版」をご活用ください。

仲田の森遺産発見プロジェクト

◆日野にもあった絹産業遺産

昨年富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産となり、大きな話題を呼んでいますが、日野市にも絹に関連する貴重な建物が遺されています。JR 日野駅からほど近い「仲田の森蚕糸公園」は、かつて国の養蚕・蚕糸業の発展に大きく寄与した「旧農林省蚕糸試験場日野桑園」が存在していました。杉並区高円寺にあった本庁の支所として、ここで研究開発された桑が全国の養蚕農家へと広まっていきました。園内には当時の遺構である「第一蚕室（愛称：桑ハウス）」と「庁舎の基礎」が現存しています。

1階飼育室内部（写真：宮崎淳氏）

柱や梁に洋風の装飾が見られる。



第一蚕室は昭和 7（1932）年に当時まだ珍しかった鉄筋コンクリートを使って造られました。東西の端には屋上テラスを持っており、室内外に洋風のデザインが見られます。一方で群馬の養蚕農家に見られる煙抜き用の越屋根があり、内部の間仕切りには障子を使う等、伝統的な蚕室がベースとなっている和洋折衷の珍しい蚕室です。第一蚕室より 2 年後に建てられた山形県新庄市の蚕糸試験場の蚕室は平成 25 年に国の登録文化財となりました。第一蚕室もその造りの珍しさ、建設年代、日野と養蚕の繋がりから見て、十分に登録文化財になる価値を持った建物です。

平成 26 年度第 2 回地域懇談会では、仲説明をしてもらいました。今回は、その

2階内部（写真：宮崎淳氏）



◆仲田の森遺産発見プロジェクト

仲田の森にあった「旧蚕糸試験場日野桑園遺構」を貴重な遺産として後世に残していくために、平成 21 年に市民や大学が連携し、「仲田の森遺産発見プロジェクト」を立ち上げました。

これまでに、ひのアートフェスティバルでのアートイベントや、蚕室の調査・見学会・お掃除会等を開催しています。ご関心のある方は是非ご参加ください。

仲田の森遺産発見プロジェクト Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/HinoKuwahouse>

見学会の様子（平成 26 年）



仲田の森蚕糸公園で活動している団体から
団体の活動を紹介します。

NPO 法人子どもへのまなざし

地域の中で子どもたちにもっと体験を！

みなさんは子どものころ、どこで、誰と、どんなふうにして遊んでいましたか？

昔も今も、子どもにとっての「遊び」は、生きることそのもの。子ども時代の「遊び」が、人としての土台をつくります。当団体は、なかだの森に残る豊かな自然環境を活かして、子どもが主人公の居場所「なかだの森であそぼう！」を開催しています。



日常的な遊び場だからできること

かつては、日常の「遊び」を通して自然から学び、子ども同士の人間関係の中で社会性を身につけていました。子どもの遊びには、小さなケガや失敗はつきものです。子ども自身が「やってみたいこと」に挑戦できる場を温かいまなざしで見守るおとながいるから、子どもたちは安心して過ごすことができます。



最近では小学生の放課後の居場所としても定着してきました。放課後の遊びは、子ども自身が自分で考えて決められるように選択肢が多いこと、そして自分の責任で自由に過ごせることができます。



肢が多いこと、そして自分の責任で自由に過ごせることが大切だと考えています。

学び合い、支えあう子育て

「遊び」の中での子ども同士の関わり合いが大切だと思っていても、目の前で起こる子どもの姿に悩んでいる親がたくさんいます。今の親自身が、異年齢の子どもたちと群れてあそんだ経験が乏しいのです。日々の活動の中で、「子育てに関する情報は溢れているのに、身近に相談できる相手がない」という声も聞きます。

「なかだの森であそぼう！」では、子育て中の人も、子どもが主人公の居場所づくりをする仲間として、共に学び合い支え合う関係づくりを心がけてきました。子育ては親だけでは決してできません。親だって、地域のたくさんの温かいまなざしの中で育ち合うことが必要です。



「子ども」を主役に、安心して子育てができるまちは、誰もが住みやすいまちになるはず。ぜひ一度なかだの森にお越し下さい。ベーゴマやけん玉などの昔遊びを教えてくださる方も募集しています！

子どもが主人公の居場所「なかだの森であそぼう！」

毎週金曜日・第2土曜日・第4水曜日

時間：10時～17時ごろ

場所：仲田の森蚕糸公園（市民の森ふれあいホール隣）

問い合わせ先：NPO 法人子どもへのまなざし事務局

050-3721-1973(月～木/13時～17時)

市からのお知らせ

自治会専用ページ「自治会ナビ」を公開しました！

日野市のホームページの最初のページ下部、「くらしの情報」欄に“自治会専用ページ「自治会ナビ」”を作りました。（日野市ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>）

総合サービス案内



普段自治会から問い合わせの多い、防犯・防災、高齢者への取り組み…などの項目を一つのページにまとめました。

自治会活動をする中で、「こういうときはどうしたらいいのだろう？」と困ることがあれば、参考にしてください。



高齢者のほっとあんしん相談所

地域包括支援センター

地域包括支援センターは日野市が設置している高齢者とそのご家族のための総合相談窓口です。プライバシーにも配慮しています。

お困りごとやご心配ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

お隣のひとりぐらしのお年寄りを
最近見かけなくて心配だわ・・・

同じことを何度も聞くようになったけど・・・もしかして認知症？

ご心配事があったらまずは電話でご
相談ください

ちょっと気になる方がいるのですが…

はい！こちら
地域包括支援
センターです！



名称	電話番号	担当地域
せせらぎ	589-3560	日野本町・神明・日野台1～3丁目・栄町・新町
多摩川苑	582-1707	万願寺・大字上田・大字川辺堀之内・大字日野・大字宮・石田・大字石田(浅川北)

【受付時間】月～金曜日 午前9時～午後6時 ※受付時間以外のご相談は、電話により対応します